

製品名: Rock-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17315**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	165kDa

抗原情報

遺伝子名	ROCK2
別名	ROCK2; KIAA0619; Rho-associated protein kinase 2; Rho kinase 2; Rho-associated; coiled-coil-containing protein kinase 2; Rho-associated, coiled-coil-containing protein kinase II; ROCK-II; p164 ROCK-2
遺伝子 ID	9475.0
SwissProt ID	O75116
免疫原	抗血清はヒト ROCK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 691-740

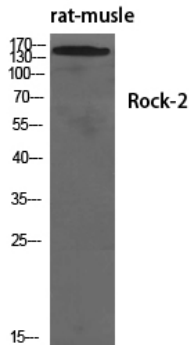
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞質分裂、平滑筋収縮、アクチンストレスファイバーおよび接着斑の形成、そして c-fos 血清応答配列の活性化を制御するセリン / スレオニンキナーゼである。ROCK1 のアイソザイムであるこのタンパク質は、低分子 GTPase Rho の標的である。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、酵素制御: RHOA 結合によって活性化される。、機能: 多数の重要なシグナル伝達タンパク質をリン酸化することで、アクチン細胞骨格の組み立てを制御するタンパク質キナーゼ。ストレスファイバーおよび接着斑複合体の形成を促進する。平滑筋の収縮に関与する。、その他: Y-27632 によって阻害される。、PTM: DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。、類似性: AGC キナーゼ C 末端ドメインを 1 つ含む。、類似性: PH ドメインを 1 つ含む。、類似性: ホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。、類似性: REM (Hr1) リピートを 1 つ含む。、細胞内局在: 細胞質内、アクチンマイクロフィラメントおよび細胞膜と関連する。、サブユニット: ホモ二量体。GTP 結合によって活性化された RHOA に結合します。IRS1、RHOB、RHOC に結合します。、

研究分野

ケモカイン、血管平滑筋収縮、WNT、WNT-T CELLTGF-beta、軸索誘導、接着斑、白血球の内皮透過移動、アクチンと細胞骨格の調節、病原性大腸菌感染。

画像データ



1: 1000 希釈の Rock-2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析